



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 11 月第 2 例会 (2013.11.12) No.3017

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

11 月はロータリー財団月間であり、またインターアクト週間でもあります。インターアクトについては先週の例会でお話ししましたので、今回はロータリー財団についてお話しします。特に今回は 2 点に絞ってお話ししたいと思います。1 点目は、ロータリー財団の活動の中で、ロータリー財団奨学金による人材育成が最も重要であることです。私が今こうして此処に立っておられるのもロータリー財団から支援を受けた賜物と感謝しております。次期会長の高橋秀樹様も財団奨学生ですので、同じ思いであると思います。2 点目ですが、このロータリー財団も今年 7 月から大きく様変わりをする予定です。私たちはこれに対処しなければなりません。

1 点目のロータリー財団奨学金制度について個人的体験と思いをお話しします。私の手元に『ロータリー財団奨学生名簿』があります。1950 (昭和 25) 年の初代ロータリー財団奨学生から 1990 (平成 2) 年までの名簿です。表紙が赤いので、“赤本”と呼んでいます。

名前、性別、推薦クラブ、留学大学、現住所、出身校、勤務先、電話番号まで詳細に掲載されています。総勢 3032 名 (男 1352 名、女 1680 名) の名簿です。現在、個人情報保護への配慮のため、この赤本は最後のものとなりました。今となっては、わが国における初期の頃のロータリー財団活動を知る上で重要な情報源です。

最初に創設期の奨学生 3 人を紹介します。1950 (昭和 25) 年の奨学生は清水長一さんです。東京ロータリークラブの派遣で、コーネル大学に留学しました。その後ベル&ハウエル・ジャパンの社長になりました。1978 (昭和 53) 年の東京大会でスピーチをされた記録が残っています。1951 (昭和 26) 年の奨学生は、緒方貞子さんです。あらためて紹介する迄もない有名人ですが、一応紹介します。東京ロータリークラブの派遣でジョージタウン大学に留学されました。国連難民高等弁務官、アフガニスタン支援政府特別代表などを歴任され、1996 (平成 8) 年にはロータリー国際理解賞を受賞しています。その後、国際協力機構 (JICA) 理事長などを歴任されました。1952 (昭和 27) 年の奨学生は宮野成二さんです。京都ロータリークラブの派遣でイリノイ大学に留学されました。後に福岡大学学長になりました。因みに私は、742 番目の奨学生であります。

1950 (昭和 25) 年から 1955 (昭和 30) 年までは年間 1 名、以降は 2 名、3 名と派遣奨学生は増え続けました。私が派遣された 1979 (昭和 54) 年になると、なんと 126 名に達しています。まさに日本の経済成長と軌を一にしている印象を受けます。

2 点目のロータリー財団の考え方の変化についてお話しします。ロータリー財団は未来の夢計画を今年度から実施しました。この中で人材育成の在り方をより明確にしました。批判を恐れず一言でまとめると、新しい地区補助金による今までの奨学金は少なめに、グローバル補助金による奨学金は多めにするのが財団の考え方です。新しい地区補助金による奨学金は国内外を問わず授与可能で自由度は増しますが、授与できる期間は短くなり金額も相当減額されるはず。グローバル補助金による奨学金は六つの重点分野 (平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展) に投資されます。この方針転換は、世界的レベルでは大変良いですが、日本から私たちみたいな留学生を昔のような形のまま外国の大学に送ることは難しくなったと思います。

ロータリー財団は 2017 (平成 29) 年に創立 100 周年を迎えます。財団は未来の夢計画を掲げ、方針を明確にしました。ロータリー財団が変革するのと同様に私どもロータリアンも変わらねばならないと思っています。最後に映画「山猫」の名せりふを紹介してまとめとします。イタリア革命で没落する貴族の父親 (パート ランカスター) に対して、息子 (アランドロン) が囁く切ないせりふです。“We have to change to remain the same.” (今のまま貴族の生活にとどまるには、私たち自身が変わらねばならない。)

(注: 財団寄付の行方 年次プログラム基金 (APF) は 3 年後に地区に戻され、50%が地区財団活動資金 (DDF)、残り 50%が国際財団活動資金 (WF) となります。DDF はその最大 50%が地区補助金 (DG)、残りがグローバル補助金 (GG) の提唱者負担分、ポリオ・プラス、他地区への寄付金などに充てられます。従って DG は APF の 25%以下になります。恒久基金 (PF) の 3 年後の収益分が APF と同じプロセスを経ます。なお未来の夢計画の「地区補助金」は、旧制度の「地区補助金」と混乱しています。今後「地区補助金」と言えば未来の夢計画での補助金を意味します。)

(3) 新会員の紹介



㈱総合教育研究所
代表取締役 石橋 正利

親睦委員

新潟高校、獨協大学卒業後、㈱リコーに入社する。系列販売会社の営業課長として現場を体験した後、本社で販売促進・商品企画のスタッフ業務に携わる。37歳の時、「仕事に喜びとやりがいを感じられる」仕事観を育む社会教育者としての使命を自覚し、㈱総合教育研究所を設立する。

人間に与えられている無限の潜在脳力を引き出し、「個人と家族と組織のビジョン」が実現できるよう、様々な研修プログラムを企画、提供している。さらに、日本経営品質賞の評価基準に基づいた顧客満足度が高く、競争力のある経営システムや人財育成などの組織改革を総合的にコンサルティングしている。実績として、経営品質賞「知事賞」及び「奨励賞」受賞企業を輩出している。最近では、経営者・ビジネスマン必読の情報総合メディアである経済産業新報社の取締役役に就任し、競争力のあるグローバル人財育成環境づくりに取り組み始める。

参考:『東京の社長tv』インタビュー

<http://tokyo-president.net/sougoukyouikukenkyuju>

(4) 委員会報告

樋熊 紀雄財団委員長報告

皆様ご存じのように、11月はロータリー財団月間です。財団月間にちなみ11月26日織戸財団副委員長にお願いし、話をさせていただいておりますのでよろしくお願ひします。

これまでに第2560地区において2回のロータリー財団の研修が開催されましたので、ご報告します。

1) RI 第2560地区2013-2014年度第1回ロータリー財団セミナー

期日 2013. 8. 24

会場 万代シルバーホテル

出席 樋熊 紀雄

地区補助金受託の為のオリエンテーション

2) 期日:2013年10月26日(土)

場所:万代シルバーホテル

出席:織戸 潔 ロータリー財団副委員長

ロータリー財団では、創設第二世紀に向けて財団のプログラムを大きく変更しました。そのプログラム試行3年経ち、今年度より『未来の夢企画』が開始されました。

1. 地区ロータリー財団の寄付金と寄付金の行方

2012-2013年新潟 RC 財団寄付: \$ 17,752(1位)、
\$ 219.16/人(4位)

地区: \$ 299,426. 86(恒久基金を含む)

運用:3年後に年次基金の半分と恒久基金の運用利益が地区財団活動資金(DDF)、国際財団活動資金(WF)として運用できる。

2013-2014年度、皆様からの浄財は、10月末現在5800ドルとなりました。ご協力ありがとうございました。

#財団へのご寄附は、3年後に、新地区補助金、グローバル補助金として運用されます。

2. 新地区補助金について:地区の方針

① 今年度は、新地区補助金への移行初年度ということで各クラブ手探りの状態と考え、すべてのプロジェクトが新しいプロジェクトであると拡大解釈し、すべてのプロジェクトに補助金を出すことに決定。

② 次年度以降は、ロータリー財団のハンドブックにある授与と受託の条件とする。

さらに、

A. 受付期間:2014年2月1日~2月28日

B. 支給額:各クラブ寄付状況により決定。ただし下限は設けない。

補助金の上限は、一人当たり年次寄付額による。

\$ 100~200/人は事業計画 \$ 5,000 を上限、\$ 100/人は \$ 4,000 以下で。

C. 事業年度:2013-2014年度は、2014年3月末までに終了。各クラブへの地区補助金の送金はプロジェクトの完了前報告書の提出後となる

D. 継続事業:基本的に、継続事業は認めない。

E. 結果報告:地区補助金委員宛てに、プロジェクト終了後一か月以内(4月末までに)

最終報告書を提出。その事業で効果、改善、地域のニーズに応えられたかの論文を添付。

F. 結果検証:完了前報告書において、人道的・教育的、かつ地域のニーズに合致しているか委員会で精査

G. 利害の対立:補助金という性質上ロータリアンへの支払いはない。

*次年度以降については、新理事が決定次第方針を検討する

③ 2013-2014年度新地区補助金配分(別紙)

新潟ロータリークラブは、

「交通遺児と家族のための事業(あしなが事業)」

主催 社会奉仕委員会

期日 9月8日

場所 白根グレープガーデン

補助金額: 1,500ドル

3. グローバル補助金:事業プロジェクトは6つの重点分野

- ① 平和と紛争予防/紛争解決、② 疾病予防と治療、③ 水と衛生、④ 母子の健康、⑤ 基本的教育と識字率向上、⑥ 経済と地域社会の発展

「持続可能であること・結果検証をする」

2013-2014年度地区事業

1) 新潟南 RC 提案「ボリビアにおける寄生虫感染実態調査および治療」 事業費: \$ 31,000(2,855,000円)

2) 財団奨学生:

新潟ロータリークラブがスポンサーとして、麩沢美裕(北

海道大学環境社会工学科卒業・新潟市内出身)を派遣
派遣先:イリノイ大学大学院アーバナ・シャンペーン校
(RI6490 地区)

重点分野:水と衛生設備

期間 :2013年9月~2015年8月

授与額 :\$ 30,000/年

受け入れクラブ:RI6490地区シャンペーンクラブ

研修報告:1月一回の報告が義務。報告書は週報に掲載
していますのでご覧ください。

4. ポリオ・プラスへの寄付

2013年度、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアに新
たに発症。

\$ 10/人/年を募りたい

5. ロータリー財団について:ワークショップ

財団の理解

財団への寄付

寄付金の活用 等をグループ討議し報告

(7) 会員スピーチ「わたしとロータリー」

JTB 新潟支店長 遠藤 克也君

(8) 本日の出席率 76.67 %

(2週間前メーク後 90.81 %)

11月19日の例会予定

講和 「会員拡大について」

RI 会長代理 洪 武男 (ホン ウーナン) 氏

・高橋 康隆会員より料理講座開講について

先日、ゴルフコンペの懇親会席上で若杉会員と、料理講座
を立ち上げたいという話をしていたところ、新潟調理師専
門学校の吉田副校長が、最大級の協力をして下さるとおっ
しゃって下さり、全面的に甘えまして、月に1~2回、18:0
0~20:00 開催したいと思います。会場は、新潟調理師
専門学校。(東幸町8-8)材料、道具は全て揃えて頂き、参
加費は3000~4000円程度、人数は10数名を考えており
ます。講座の後は、ワンカップや缶ビールを持ちこんで懇
親会をやりたいという希望を出しております。年内に一回
位は実施したいと考えておりますので、希望される方は私
か、若杉会員、事務局へお申し出願います。

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrcrc

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(11/19 発表)

鈴木 滋弥君

米山奨学会寄付発表(11/19 発表)

竹石 松次君 徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(11/19 発表)

樋熊 紀雄君

(6) 幹事報告(若槻 良宏幹事)

・例会終了後、4階「楓の間」で新会員オリエンテーションを
開催します。